

品川区民芸術祭 2018 ㊦ 美術館企画展

林アメリー 2018・ アッサンブラージュ 秋の色

蘇れ! 古い着物に新しい息吹を与える喜び

Amélie HAYASHI 2018 - Assemblages couleurs d'automne.
Plaisir de redonner une utilité honorable aux anciens kimonos.

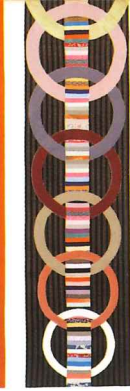
10月12日(金)～11月7日(水)

開館時間ー10:00～18:30(入場は18:15まで)
(但し、初日のみ13:00～)

入場無料

主催一品川区・S 公益財団法人 品川文化振興事業団

会場ー㊦美術館 品川区大崎1-6-2 ニューシティー 2号館2F TEL:03-3495-4040



この度 ○美術館では、品川区民芸術祭 2018 の当館企画展として品川区在住のテキスタイル作家・林アメリーの和布によるアッサンブラージュ（立体的なコラージュ）作品の展覧会を開催いたします。

林アメリーは1933年フランス・オートヴィエンヌ県スサク生まれ。パリの洋裁学校で学んだ後、アトリエ・クリスチャンディオールからキャリアをスタートし、イヴ・サンローランを経てアトリエ・ギ・ラロッシュの主任を務める。

1963年、日本の百貨店と契約したギ・ラロッシュのオートクチュールに於ける技術指導監督責任者として初来日。数年来にわたり日本とフランスを往還しながら、日本のファッション界に多大な影響と貢献を果たす。

1970年以降は品川区に住まいとアトリエをかまえ、オーダーメイドの服作りから次第に日本のKIMONOに魅せられ、日本の布地の持つ存在感を独自の感性で捉えアレンジした創作作品を発表。

手仕事の作品作りのみならずライフスタイル全般も含めてTVや雑誌などのメディアで幅広く紹介され、大きな反響や共感を得て現在に至る。

また自ら、独力で日本のKIMONO文化を祖国フランスに紹介する展覧会の企画実施を手掛け、日仏文化交流にも尽力を重ね貴重な足跡を残している。

今展は展覧会開催時期に合わせた「季節・秋の色」をテーマとして新作も加えて90余点の展示発表となります。

林アメリーの感性に裏打ちされた日本の布の持つ様々な表情の魅力的で興味深い作品の数々をご覧くださいたくご案内申し上げます。

○美術館館長 鳥山 玲

品川区民芸術祭 2018 ○美術館企画展

林アメリー 2018・アッサンブラージュ 秋の色

蘇れ！古い着物に新しい息吹を与える喜び

Amélie HAYASHI 2018 - Assemblages couleurs d'automne. Plaisir de redonner une utilité honorable aux anciens kimonos.

2018年10月12日(金)～11月7日(水)

開館時間－10:00～18:30（入場は18:15まで）

（初日のみ13:00～） 入場無料

主催－品川区・公益財団法人品川文化振興事業団

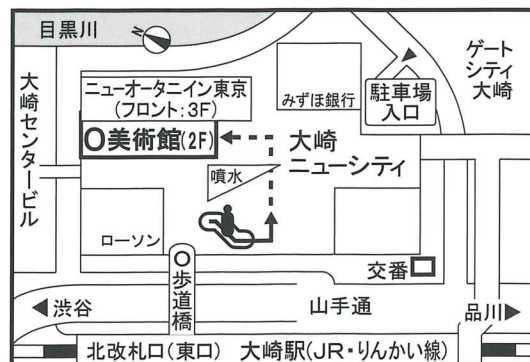
○美術館

品川区大崎 1-6-2 ニューシティ 2号館 2F TEL: 03-3495-4040

JR線・りんかい線大崎駅(北改札口・東口) 下車徒歩2分

東急バス(渋41:大井町ー渋谷)大崎駅下車徒歩2分

林アメリーギャラリートーク 10月20日(土) 14:00～ 事前申し込み
10月28日(日) 14:00～ 不要です



※○歩道橋を渡り、エスカレーターで2Fへ降りて飲食店舗街奥